

2006 年 6 月 1 日発行  
発行人：徳丸 公義  
発行所：神戸市中央区海岸通 8  
神港ビルヂング 5 階 509  
TEL：078-393-0050  
FAX：078-393-0051  
E-Mail：[kobekeio@dream.ocn.ne.jp](mailto:kobekeio@dream.ocn.ne.jp)  
URL：<http://www.kobekeio.org/>  
編集：堀 友子・八巻 晤郎

～～2006 年度総会開催～～

『就任ご挨拶』

神戸慶應倶楽部会長

広瀬 努 (昭 45 商)



5月25日御影の蘇州園で総会が開催され、会長に選出していただきましたことを光栄に思っています。また責任の重大さを感じています。昨年死去しました父親と大変親しくしていただいた黄さんの処で

総会が開催されたことも感慨深いものがありました。伝統ある神戸慶應倶楽部のため微力ながら努力させていただきたいと思っておりますので新しく就任された役員の方はじめ会員皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

さてはじめに自己紹介と倶楽部での経歴や思い出を書かせていただきます。昭和 23 年神戸に生まれ、北野小学校、甲南中学、甲南高校から商学部を昭和 45 年に卒業したいわゆる団塊の世代です。家内も法学部の卒業です。当倶楽部に入会したのは浜根会長、谷幹事長の時でした。その後和田幹事長になり、浜根会長の評議員選挙では大活躍されたことを覚えています。高橋幹事長のあと浜根会長、森会長のお二人の会長のもとで幹事長をさせていただきました。関西合同三田会をその当時完成したハーバーランドのホテルニューオータニで開催し、亡くなられた里見さんが実行委員長で神戸名物オークションをした思い出や、倶楽部が朝日ビルの建替え中で和田さんのビルを神戸早稲田倶楽部と一緒に借りして大変お世話にな

りました。また横山幹夫当時副幹事長のお世話で昔のフーリッシュハートなどいろいろな場所で開催した例会など数多くの思い出があります。上島さん、藤田さん、阪本さんらと引っ越し準備し朝日ビルに戻りましたが、昭和 10 年代に寄贈された家具が貴重なもので修理しました。また倶楽部を訪問されたら、家具などを改めて見てください。また 70 周年の時には神戸の知人が福澤諭吉先生の書簡も所持していて当時の福井幹事長を通じて慶應義塾で貴重なものであると鑑定され日本経済新聞にも紹介され現在は慶應義塾で保管されています。さて五代前会長は高橋副会長とともに城崎での関西合同三田会では成功裡に導いていただき、円山応挙の襖絵で有名な大乘寺見学など楽しい思い出を作ってくださいました。また囲碁、絵画など同好会が現在あるのは五代さんのおかげです。本当にありがとうございました。また 2 年間の徳丸幹事長の活躍、そして 1 年延長して幹事長を引き受けていただきましたことに本当に感謝しています。

さて創立 150 年を 2008 年に迎える慶應義塾は伝統の実績を誉れとしつつ、新たな社会をデザインする未来への先導者であり続けること、新たな社会を築く独立して生きる力と協力して生きる力を兼ね備えた人間を育み続けることが責務と改めて認識しこの社会使命をはたすための基盤を構築し、21 世紀社会先導の模範をしめすため今後 10 年に亘り様々な事業に取り組んでいます。すでに慶應義塾創立 150 年記念事業委員会が発足し、各三田会にも募金推進実行委員など協力要請がきています。当倶楽部も 2009 年には 80 年を迎えようとしています。明治初年の神戸の経営には福澤諭吉先生と慶應義塾の圧倒的影響があったと伝えられて

いますが、過去の歴史を振り返って神戸、兵庫の地元地域と慶應義塾の関係の歴史の研究など 150年の節目にあらためて例会や BRB など考察してみてもいいと思います。未来をみつめて、慶應義塾とのさらなる協力関係を構築しながら活動していきたいと思っています。そのため若い世代の参加しやすい環境づくり、できるだけ多くの会員が参加できる倶楽部づくり、会員増強、退会防止、BRBの発送方法、会費などの検討など、会員皆様にとって魅力ある楽しい倶楽部づくりのために努力したいと思いますのでよろしくお願いします

### 『幹事長続投ご挨拶』



徳丸 公義(昭 54 商)

この度、1年間の幹事長の続投を拝命し身の引き締まる思いです。

この2年間で振り返りますと、赤穂へのバスツアー、宿泊ゴルフ、城崎での関西合同三田会そしてタイ・バンコクツアー等さまざまなイベントを実施しましたが、いつもたくさんの方の参加を頂き、幹事一同も自ら楽しみながら運営させていただくことができました。

ここに改めてお礼申し上げます。また、幅広いご人脈と高い識見をお持ちの五代前会長からはいつも暖かくご指導いただいたことに感謝いたします。

神戸慶應倶楽部は、歴代の会長および幹事長を中心としました役員・幹事、そして会員の皆様のご尽力により、毎月開催される例会及び盛んな各クラブ活動並びに非常に高品質な BRB に代表されますように、その充実ぶりは近隣の慶應倶楽部や三田会はもちろんのこと関東方面へも聞こえるほどです。倶楽部とは単に同窓会を開催するところではなく、慶應義塾を愛する同好の士の集いの場であるとともに、憩いの場としての性格を併せ持つところでもあります。会員の皆様には倶楽部に行けば楽しい何かが見つかる、素敵な誰かに会うことができるという期待をしていただけるような会の運営を五代前会長のもと心がけていきたいと思っています。皆様方の暖かいご協力とご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願いします。

### 《懇親会レポート》

尾藤 唯之 (平 2 理工・平 4 理工修士)

去る 5 月 25 日、18 時半から 20 時半まで、49 名の参加の下、総会が蘇州園にて行われました。

塾歌の斉唱に続いて会場の蘇州園オーナー黄耀庭氏の挨拶で総会がはじまりました。今年は役員改選の年であり、五代前会長から広瀬新会長へのバトンタッチが今回の総会のメインイベントでした。

まず五代前会長から前年の活動報告、決算報告があり全員一致で審議可決されました。そのあと五代前会長から関西合同三田会、タイ旅行の思い出など退任のご挨拶と花束贈呈がございました。続いて広瀬新会長から新年度の新役員、活動計画、予算の説明があり全員一致で審議可決されました。広瀬会長の就任挨拶のあと、当日出席の全役員が挨拶を行いました。なお、徳丸幹事長が 1 年限定で幹事長を延長される旨報告もありました。KKJC の帽子の紹介と購入依頼がございました。

最後は「若き血」を力強く歌ってなごやかな中閉会となりました。

### 《幹事団からのお願い》

例会等で、講師としてお話いただける方がいらっしやいましたら、ぜひご紹介いただきたいと思っています。

また例会以外にも倶楽部行事としての企画アイデアを頂戴できればと思います。

皆さまのご協力を切にお願い申し上げます。

### 《KKJC 帽子制作委員会からのお願い》

総会の席でもご紹介いたしました、KKJC 渾身の作品です。皆さまぜひ洒落た帽子を被ってください。そして、今年の神戸ジャズ・ストリートはこれで決めましょう！

ゴルフでは、これを被ればナイスショットは間違いなし(?)です。

お早目のお申し込みをよろしくお願いします。

『三田の福澤先生と三田の九鬼藩主』(下の巻)

市居 嘉雄(昭29経)

明治五年四月三日、福澤先生は神戸に着いた後、有馬入湯を兼ねて三田を訪れた。この時の旅装はコウモリ傘を片手に小紋の羽織、パッチ尻端折という至って軽装といえるもので、三田町内で西洋小間物店に立ち寄り、西洋酒のビンを出させて「ベラベラ」と張り紙を読み一ビンを買って行かれたと、三田町民は珍しそうに話し合ったと言つた。

三田町で福澤先生は九鬼邸に一泊しただけで、有馬温泉には十四・五日も逗留された。この時、隆義は廃藩置県後の処世術を福澤先生に尋ねた。福澤先生は「すこぶる米国羸原で官吏を罵倒し、商人は人間の取るべき自由の生活法である」と奨励されたので、隆義はその資本主義的近代精神を容れることにした。これが旧三田藩内の世論となつて、一人も官吏を目指す者は無く、皆「帰農帰商」を志すこととなった。

その年十一月、隆義は福澤先生の助言に従つて、将来発展が予測される開港されたばかりの神戸に赴くべく、正金二十五万両を持つて三田町を発つた。隆義は夫人の園子や一男二女を伴つて神戸花隈四ノ宮通りに地所を買い、別邸宜春園に移つた。殿様付きの面々もそれに随い、家産一式を売却して一斉に兵庫・多聞前・神戸・花隈周辺に引越した。店

舗を開く者や商工業に従事する者が多数にのぼり、三田の屋敷町での土分在住所は僅か十数戸を残すのみという寂れようだったといわれる。

一方、明治四年から行われていた波止場と生田川付け替えの大工事では、三宮周辺の地所の買い占めによつて、九鬼隆義と小寺泰次郎ら旧三田藩主従が巨富を得るところとなった。

また、隆義は福澤先生から商業の有利性を聞かされ、一身の独立のための転身を勧められていた。そこで、隆義以下改革派の白洲・小寺ら十六名が社基となつて明治六年三月、神戸栄町三丁目「志摩三商会」を開業することとなつた。志摩は九鬼家発祥の地、それに三田町の三を付けて社名とし、神戸初の輸入商社となった。

看板には「医学西洋

並ニキカイ所」と書かれ、外国の医薬品を中



心に食料品・雑貨・薬種などを販売したが、神戸では当時志摩三商会しか無かつたので、当時の文明開化の動きとも相まって商売は繁盛した。福澤先生もこの商会の発展を期待して、志摩三商会のご商売は如何か」などと励まされた。

その後、前述の生田川尻地の買い占めで得た巨利を経営基盤としたので、商会の経営は順調に推移した。しかし、栄町五丁目への本社移転



小寺泰次郎

や大阪支店開業の一方、支配人の死去・交代や白洲退蔵の退社・官界入りがあつて、以後の経営は事業縮小に追い込まれ、明治二十五年には商会は九鬼家に収められてしまつた。

白洲が退官して九鬼家の執事に就任してから、神戸市内の所有地が神戸の発展に伴つて高騰したことで得た巨富により、旧三田藩子弟のための九鬼子爵奨学金制度が設立された。

隆義は営利事業のみに熱中せず、長女の死去を機に一家で神戸在住の米人宣教師と知り合い、キリスト教に強い関心を示した。この影響で多くの三田出身者がキリスト教に入信した。明治八年に神戸山本通りに三田旧領の子女の教育のために開校した「神戸ホーム(のち神戸英和女学校)」が今日の神戸女学院の前身である。

明治十五年、隆義は上京し宮内省に勤務した。隆義自身の受洗は晩年の同二十年神戸教会においてである。同二十四年二月、九鬼隆義は五十五歳で永眠した。

隆義が没するまで、福澤先生は旧中津藩主の奥平家の世話をするのと同様に九鬼家の事業に気を配り続けた。

なお、福澤先生から九鬼隆義知藩事への書簡類は、現在慶應義塾図書館に所蔵されている。(終り)



# 会員だより

## 《インド旅行》

浅沼 清之 (昭36経)

4月中旬に、6日間ほど気軽なインド旅行に、家内と出かけて来ました。関空からシンガポール経由でデリーに飛び、デリーから国内線でベナレスに移動、ベナレスから夜行寝台列車に12時間ほど乗ってアグラまで行き、アグラから車で4時間程かけてデリーに戻るとい、北インド中心の行程です。

デリーは、1912年に英国が首都をカルカッタから移し、首都ニューデリーの整然とした街並みが見られる一方、13世紀のデリー諸王朝から19世紀のムガル王朝まで、いくつかの王朝が栄え由緒ある遺跡が数多く残るオールドデリーが対照的に組み合わせられた街です。加えて農村部という3つの顔を持っています。16世紀に、モンゴルの血を引くバブル皇帝がデリーの新しい支配者になってムガル帝国が始まりましたが、このムガル帝国の歴史を辿るのが今回の旅であることを最初に実感しました。第5代皇帝シャー・ジャハーンが建てた巨大な城ラール・キラは、オールドデリーの中心的存在と思われます。ヒンズー・イスラム両様式の混ざったクトゥブ・ミナールという高い塔と隣のインド初のモスク跡は、歴史深い街の象徴となっていました。

ベナレスはヒンズー教最大の聖地。街を流れるガンジス河で人々は歯を磨き洗濯をし、遺灰も流します。聖と俗が混在する場所ですが、ヒンズー教の教えでは、この河で沐浴をすればすべての罪を浄められると言われます。河岸にある段階状の沐浴場(ガート)での、聖なる沐浴風景を私達はボートに乗って夜明けと共に見学しました。煙の上がる焼き場の傍では、遺灰を流す白衣の人の姿が見られました。ベナレス・ヒンズー大学の構内を見学中に、人々が亡くなったばかりの職員の妻に衣装を着せて担いで歩く光景をたまたま見かけました。これからガンジス河の焼き場に運び、遺灰を流すと聞きました。ベナレスから北東に10キロ離れたところに、ブッダが最初に説法をした地として知られるサルナートがありますが、世界中から多くの仏教徒が訪ねるようです。6世紀に造られた巨大な仏塔ダメーク・ストゥーバの周りには、

巡礼する多くの僧の姿が見られました。

アグラは、ムガル帝国第5代皇帝シャー・ジャハーン(17世紀)が、22年の年月をかけて建てた帝国繁栄の象徴タージ・マハールで知られる街。この霊廟は、若くして亡くなった愛妃のために皇帝が建てた総大理石白亜の建物で、左右対称のその美しさには溜め息が出ます。しかし完成後、この皇帝は息子に幽閉され、タージ・マハールを外から眺めて毎日を過ごすという運命であったようです。



10億を超える人々が暮らすインドには、さまざまな宗教、多数の言語が存在し、料理やサリーの色柄さえ地方により異なるそ

うですが、そんな多様性を包括するインドを、わずかながら肌で感じたように思います。道路には、牛や犬が思い思いに歩いたり寝そべったりする中を、汚れた人力車や二輪車、自転車、溢れんばかりの乗客を乗せたタクシーが行き交う光景が印象に残ります。ベナレスの駅のプラットフォームにも、牛がうろうろ歩いているのには驚きました。買い物で代金をごまかされたり、家内が寝台車で足を踏み外し肋骨にひびが入ったりするハプニングもありましたが、これも旅の思い出になると思っています。

## 同好会だより

KKJC

藤田 也寸志 (昭50商)

5月14日の日曜日に第2回目の神戸ジャズウオークが行われました。

これは、秋の神戸ジャズストリートの春季版ともいべきものですが、秋のジャズストリートは3000円のチケットを購入すれば入場料無料(飲み物別)に対して、春は各店1000円で1ステージ(ドリンク込み)聴けるというシステムです。

いつもの先輩方、近藤、垣屋、川口(敬称略)といっしょに、まずはBasin Streetへ。目的は、

北浪良佳のヴォーカルです。

まだ 2 回目の催しだし、神戸まつりと重なっているの  
で北野までは人は来ないのではと思っていたら、  
これが凄い人数。店の中はすし詰め状態で、  
演奏者と最前列の客との距離が 1 メートルも無い  
ほど。お陰でライブの醍醐味をたっぷり味わえ  
ました。次にミッドナイトサンで鍋島先輩の演奏  
を聴いてから最後は Day By Day で締めくり。  
店の前でチケットを売っていたおじさんが、実は  
ピアノ奏者でこれがまた凄く上手。店も奏者も一  
体になってジャズの良さを広めようという心意気  
が感じられた一日でした。

次に、5 月 25 日は大阪の北野病院での演奏会です。  
この病院は京大の臨床医学病院として有名で  
院内は明るく温か味と清潔感があって、とっても  
素敵な病院でした。ホールも吹き抜けで病院とは思  
えない会場でした。院長の山岡義生先生が平尾  
先輩と親戚ということで、患者さんにジャズを通  
して気分を盛り上げていただくという趣旨で実現  
しました。



鍋島先輩を始め、  
Pf・Bs・Ds・Tp  
の各奏者も関西を  
代表する錚錚たる  
メンバーで、曲も  
MJQ でお馴染み  
の“ジャンゴ”、“チ

ュニジアの夜”、“スターダスト”等、素晴らしい  
演奏を堪能しました。

公演が終わって満足して帰る患者さんの顔を見  
て、ジャズもモーツァルトと良い勝負をするな〜  
と確信しました。早くご快癒されることをお祈り  
いたします。

## イーゼル会

### 《明石公園は五月晴れ》

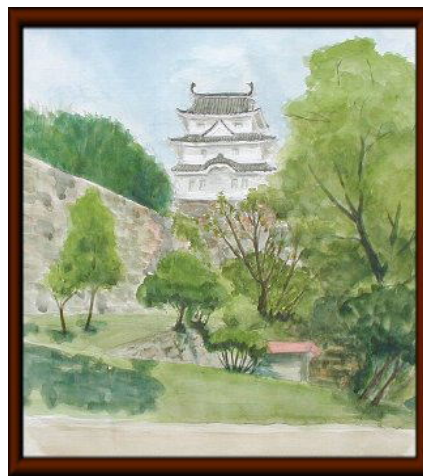
八巻 晤郎 (昭 40 経)

5 月 20 日土曜日、朝雨戸を繰ろうとしたら外は  
かなりの雨足である。ああ、アカンかと思いなが  
ら朝食をとっているうちに雨はやんだが濃霧が発  
生。こりゃ雨より悪いがな、やれやれと大きめの  
雨傘にビニールシートを余分目に車に積み込み明

石公園向け出発。海峡を霧の中に消えてゆく明石  
大橋を横目に五里霧中を水彩で描くとすればどん  
な描き方になるのだろうとタマネギがジャガイモ  
になる技法レベルで考える。

9 時 30 分、9 名が参集、雨も霧も晴れた公園に  
入り園内を最短経路で廻り場所を選定、各人各様  
に描き始める。ぱらぱら雨はあったものの薄曇り  
のなか、時々ぞき込んでいく通りすがりの人達  
の眼差しも柔らかく順調に午前部の部を終了。昼食  
は近くのホテルで、とれたた瀬戸内の海の幸が勢  
ぞろいという「臯月のあわじ膳」を賞味、味よし  
数よし文句なし、しばし絵画を離れた浮き世談義  
に花が咲く。午後の公園は青空が広がりすっかり  
五月晴れ。光線の変化もものかはそれぞれに感じ  
取った新緑を画帳の上に描き出す。昼食のホテル  
が縁でファン倶楽部となったおばちゃん連が鑑賞  
(?) に来たりして仕上がり時間に差が出たもの  
の 4 時には終了、梅地先生から「今回は全員、新  
緑の表現が良くできています」とのご講評をいた  
だき 5 時前に解散した。

### 《今月の絵》



廣川 守 (昭 57 政)

## マジック同好会

今月は休会します。

例会は原則として偶数月の第 2 金曜日に開催を予定  
しています。

世話人：塚本 明久 (平 9 総)

各同好会につきましては、世話人または事務局に  
お尋ね下さい。

# 会員の輪

今月は休みます。

このコーナー、は新しく入会された方の自己紹介やご無沙汰会員の近況報告等を紹介する交流広場です。どしどし投稿してください。（編集部）

## ♪慶應義塾ワグネル・ソサイエティー男声合唱団♪

### 神戸公演のお知らせ（概要）

日時：2006年9月10日（日）昼

会場：神戸文化ホール 中ホール

（神戸市営地下鉄山手線大倉山駅徒歩1分）

主催：慶應義塾ワグネル・ソサイエティー男声合唱団

賛助出演：神戸女学院大学コーラス部

チケット：2000円（予定）

詳細につきましては、決定次第 BRB 等でお知らせします。

### ～～事務局よりお願い～～

- ◎ 例会等にご出席の会員様はお食事等の準備の都合がありますので、事前に事務局までお申し込みをお願いします。なお、お申し込み後に連絡なしで当日欠席された場合はキャンセル料を頂く場合がございますのでご注意ください。
- ◎ 今年度は名簿改定の年ですので、住所・電話番号・メールアドレス・その他の変更がある場合は、必ず事務局にお知らせください。
- ◎ 事務局の在室時間は、通常は 11 時から午後 3 時までです。この時間外にお越しの場合は事前にご一報ください。

### ～～6月例会のお知らせ～～

6月23日（金）18：30より倶楽部ルームにて開催

（会費：2,000円）

### ～～今後の行事予定～～

7月29日（土）	サマーパーティ	外部（未定）
8月18日（金）	例会	倶楽部ルーム
9月3日（日）	関西合同三田会	岸和田
9月7日（木）	慶早ゴルフ	神戸ゴルフ倶楽部
10月20日（金）	例会	倶楽部ルーム
11月17日（金）	例会	倶楽部ルーム
12月9日（土）	年末家族例会	外部（未定）
2007年1月5日（金）	賀詞交歓会	倶楽部ルーム

詳細につきましては、BRB・メールマガジン等でお知らせしますので毎月ご確認ください。



会員の皆さま、どしどし原稿をお寄せください。テーマは問いません。

「BRB」についてのご意見、ご感想もお聞かせください。

堀 友子 [tomoko@1968.jukuin.keio.ac.jp](mailto:tomoko@1968.jukuin.keio.ac.jp)

八巻 啓郎 [yamaki@1965.jukuin.keio.ac.jp](mailto:yamaki@1965.jukuin.keio.ac.jp)

#### 編集後記

五代会長、お疲れ様でございました。会報誌の編集者はいつまでも変わらず古いままですが、広瀬新会長の下、爽やかな新風を吹き込みたいと願っております。皆様との絶大なご協力を仰ぐばかりです。積極的なご参加をお願いいたします。（ほ）